

オオシラヒゲソウ ユキノシタ科

Parnassia foliosa Hook.f. et Thomson var. *japonica* (Nakai) Ohwi

鳥取県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

環境省：—



智頭町 2008.9.16／撮影：坂田成孝

■**選定理由**：自生地が山地溪流の不安定地に限られ、個体数も少ない。採取圧もあり絶滅が懸念されるが、絶滅寸前までの状況ではない。

■**特徴**：山地溪谷沿いの水が滴る岩場、滝周辺、常時水の供給がある斜面に生育する小型の多年生草本。茎は直立し高さ10–20 cm。葉は深心形で茎を抱き円頭、長さ幅とも4–6 cm。茎葉は3–4枚。根出葉は長柄がある。花期は8–9月、白色で径約3 cm。花弁は卵形で辺縁が毛状となり美しい。以前、氷ノ山の溪谷に大群落があったが、大雨で流失し今はわずか。県外山陽側にはシラヒゲソウがあるが、茎葉8枚と多く、花と葉はより小さい。

■**分布** 県内：岩美町，鳥取市国府町，八頭町，智頭町，三朝町。県外：本州日本海側。

■**保護上の留意点**：山地溪谷の岩場および周辺自然植生の保護。採取防止。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：54.

執筆者：坂田成孝